

公共事業環境配慮書(案)

飯田建設事務所 整備課

事業名称			
事業名	道路改築事業		
整理番号	27-5		
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備		
市町村名	上伊那郡 中川村		
箇所名	渡場～滝沢		
事業年度	平成28年度～平成32年度		
事業概要			
目 的	<p>(主)松川インター大鹿線は中央自動車道松川ICを起点とし、上伊那郡中川村を經由し大鹿村の(主)松川大鹿線まで、下伊那地域を東西に結ぶ約16.6kmの幹線道路であり各地域を結ぶ生活道路である。</p> <p>リニア中央新幹線の工事により大鹿村から発生する残土は当路線が搬出路となるが、中川村内の(一)小渋川に沿った区間は、幅員狭小で線形不良区間が連続しており、通行車両の安全性や渋滞が懸念されている。一方で当路線は落石が頻繁に発生し、過去においては死亡事故も発生したことから、抜本的な改良を地域から求められている。</p> <p>本事業により危険箇所の解消を図るとともに、生活道路としての快適性、安全性を確保するものである。</p>		
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 延長L=2.2km(うちトンネル L=2.1km)、幅員W=6.0(7.0～7.5)m		
関連する事業計画	リニア中央新幹線工事		
その他特記事項	特になし		
関係法令等の規制			
自然環境保全地域等の指定状況	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">県立自然公園</td> <td style="width: 50%;">特別地域</td> </tr> </table>	県立自然公園	特別地域
県立自然公園	特別地域		
土地利用規制の状況	河川法の河川区域または河川保全区域		
その他	なし		
社会的要素			
留意すべき地域の概況			
交通の現況	交通量は1,673台/日であり、リニア中央新幹線工事で大型車約1,700台/日の増加が見込まれる。バス路線である。		
土地利用の現況	山地・丘陵である。		
生活関連施設の現況	特になし		
その他	大鹿村への重要な生活道路。		
自然的環境要素			
環境配慮の方針			
大気環境	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">留意すべき地域の概況</td> <td style="width: 60%;">特になし</td> </tr> </table> <p>【大気汚染の防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。 ・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 ・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 ・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。 <p>【騒音、振動の防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 ・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。 ・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 <p>【悪臭の防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定される影響はない。 	留意すべき地域の概況	特になし
留意すべき地域の概況	特になし		
水環境	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">留意すべき地域の概況</td> <td style="width: 60%;">河川・湖沼に隣接する</td> </tr> </table> <p>【水質汚濁の防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 ・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 <p>【水循環の保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定される影響はない。 	留意すべき地域の概況	河川・湖沼に隣接する
留意すべき地域の概況	河川・湖沼に隣接する		

地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【改変面積の最小化】	
・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。		
・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。		
・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。		
野生動植物	留意すべき地域の概況	四徳大橋でブッポウソウが確認されている。
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・ブッポウソウの営巣が確認された場合は工事の施工方法に配慮する。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期における工事の施工方法に配慮する。	
	【地域独自の生物多様性の保全】	
・想定される影響はない。		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
・想定される影響はない。		
景観	留意すべき地域の概況	小渋ダム上流は湖沼景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
・想定される影響はない。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】	
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。		
・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
【エネルギーの有効利用】		
・想定される影響はない。		
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【光害への配慮】	
・想定される影響はない		